



3章

未来をひらく教育と文化のまちづくり

- 1節 学校教育 …………… 64
- 2節 生涯学習 …………… 66
- 3節 人権尊重と多文化共生社会 …………… 68

3章 未来をひらく教育と文化のまちづくり

はじめに
基本構想
基本計画
第1章
第2章
第3章
第4章
参考資料

現況

令和2年に教育大綱を改定し、まちの宝である本町の子どもたちが、先人の思いを受け継いで健やかに育ち、すべての人々が、生涯にわたりいきいきと活躍できるよう、教育のまちづくりに取り組んでいます。

学校教育では、子ども一人ひとりの学習ニーズにきめ細やかに対応しながら、豊かな人間性と確かな学力、たくましく健やかな体を育む教育に取り組むとともに、学研都市の利点を活かし、都市内の研究機関、企業との連携によるキャリア教育や理科教育など、特色ある教育を展開してきました。また、GIGAスクール構想の実現に向けて、町立小中学校に児童生徒一人1台のタブレットコンピュータをはじめとしたICT機器・設備を整備し、ICTを活用した教育活動の実践に取り組んでいます。

生涯学習の分野では、グローバル化や高度情報化、急速に進む少子高齢化などの現代社会の変化のなかで、住民の学習ニーズは多様化しています。本町の豊かな自然、歴史、貴重な文化財など地域の文化に触れる機会を提供するとともに、住民の自主性を尊重した学習活動の支援に取り組んでいます。

住民が健康でいきいきとしたスポーツライフを送れるよう生涯スポーツの振興に取り組み、世代を超えて多くの住民が体育施設を利用してスポーツを楽しんでいます。

町立図書館では、「子どもの読書環境整備5か年計画(第4次)」に基づき、子どもの読書環境整備を図っています。また、町民の自主的な学習と文化活動をサポートする知的活動の拠点として機能を発揮することで、多くの住民が図書館を利用しています。

誰もが個人として尊重されるまちをめざして、人権意識の醸成や男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めています。

国際交流団体による外国籍住民の方との交流や外国人支援などが盛んに行われています。

昭和62年に制定された「精華町非核・平和都市宣言[※]」の趣旨を踏まえ、平和の尊さを訴える取り組みが続けられています。

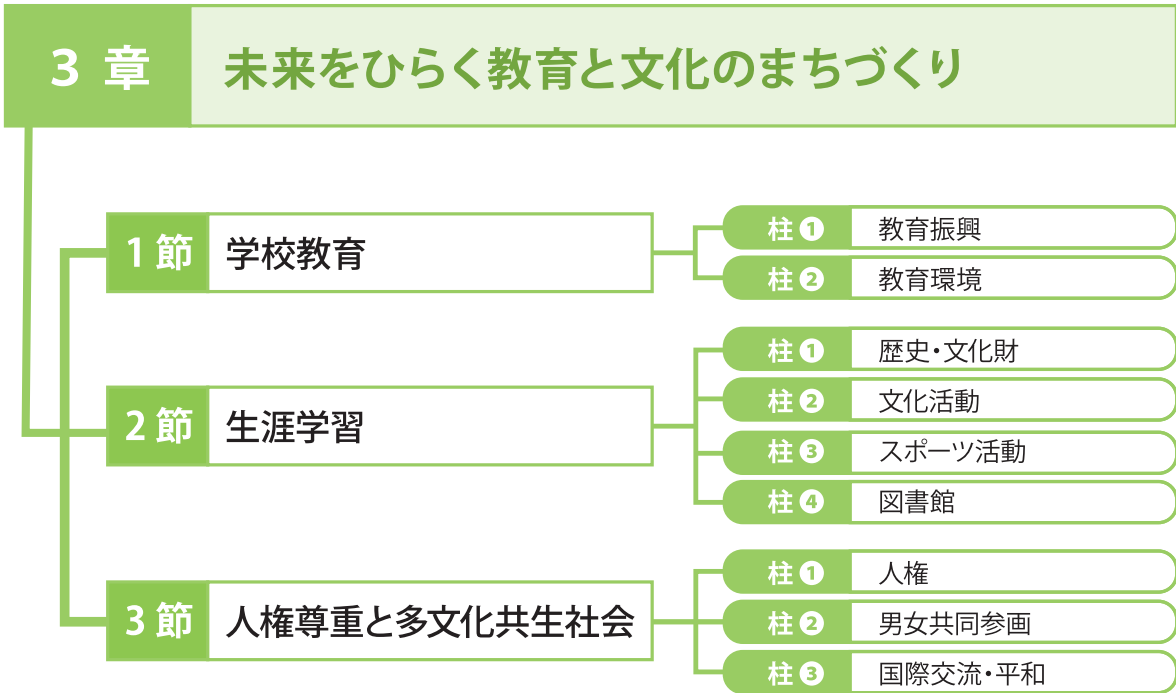


精華南中学校「地域貢献プロジェクト」提言発表会

※精華町非核・平和都市宣言

昭和62年(1987年)12月に本町において制定され、内容は次のとおりである。

- ・精華町は、非核三原則(作らず、持たず、持ち込まず)の完全な遵守を求める。
- ・精華町は、あらゆる国の核兵器の廃絶と軍縮を求める。
- ・精華町は、核兵器及び核兵器積載の疑いのあるものの精華町域への通過、搬入、飛来、貯蔵、滞留を拒否する。
- ・精華町は、核兵器を生産、配備させない。
- ・精華町は、戦争に協力する事務は行わない。



はじめに
基本構想
基本計画
第1章
第2章
第3章
第4章
参考資料



© 2023 A.T. & T.T. ALL RIGHTS RESERVED

新移動図書館車お披露目会

1節 学校教育

課題

一人ひとりの学びを支援し、未来を生き抜く力を育成するとともに、教育のまちづくりの推進のために、学研都市の教育資源を活かした特色ある教育の実施や家庭と地域社会における教育力の向上、教育に関わる人材の育成や教育環境の整備などが求められます。

柱① 教育振興

関係する
SDGsの目標



目標像

多様な他者との関わりを通じて学びあい、ICTや先端技術を効果的に活用した教育が推進され、子どもたちの主体性と創造性、豊かな人間性が育まれています。

取り組み

社会の変化を前向きにとらえて主体的に生き抜く創造性あふれる心豊かな子どもたちを育むため、学研都市の資源を活かした創意ある教育活動を展開し、子どもたちに魅力ある学校教育を推進します。また、家庭や地域にとって開かれた学校づくりを進め、地域と学校が一体となって、子どもたちを守り育てる教育に取り組みます。

柱② 教育環境

関係する
SDGsの目標



目標像

安全で安心できる学校教育施設が整備され、快適な学校生活が送れ、新しい時代の学びを支える教育環境が整備されています。

取り組み

「学校施設長寿命化計画」に基づく小中学校便所の洋式化とバリアフリーなどの改修を進めるとともに、ICT環境の最適化を図るなど、新しい教育方法に対応した教育環境を整備します。また、中学校給食の実施により、小中連携して安全で安心して食べられるおいしい給食の提供を行うとともに、食育の推進を図ります。



発行元：京都府立大学京都地域未来創造センター
イラスト：多田昭彦／無断転載禁止



※QRコードを読み取ると、山田荘小学校の小学生が発見した地域のお宝がたくさん見れます！

山田荘小学校お宝マップ

山田荘小学校4年生(令和3年度当時)を対象に、自分たちが住む地域の理解を深め、郷土愛を醸成できるよう、まち歩きを通じて地域の「お宝」を見つけるワークショップを実施しました。

【指標】

指 標 名	現況値 (R3年度)	中間目標値 (R9年度)	期末目標値 (R14年度)
学力テスト平均点(中学生)	66点	68点	70点
学力テスト平均点(小学生)	63点	66点	70点
学校トイレ洋便器率	44%	70%	70%★
学校施設満足度(小中学校保護者)	—	80%	82.5%

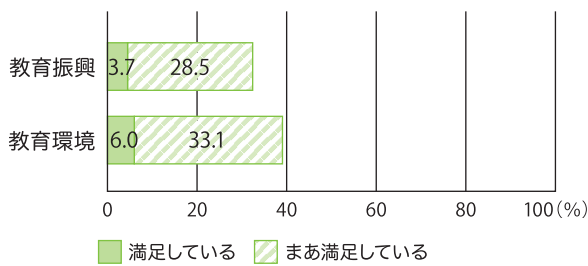
★:中間目標時点で最終目標値を達成しているものとして目標値の変動なし。

【関連する計画等】

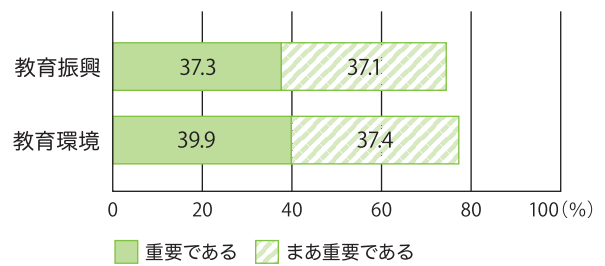
精華町教育大綱	令和2年4月(令和2~6年度)
精華町学校教育指導の重点	毎年策定
精華町学校施設長寿命化計画	令和2年3月(令和2~42年度)
公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針及び計画(文部科学省)	平成18年4月

《住民の満足度と重要度(令和3年時点)》

【満足度】(SA,n=1,282)



【重要度】(SA,n=1,282)



精華町次期総合計画策定に向けたアンケート調査(令和3年)

語り合おう! 精華町の未来デザイン

せいか力フェラボ
からの提案

子どもと学生が考える
せいか祭り。

小中学生に、精華町について
知る機会を増やす。

KICK等の施設を活用して、
学校等の誘致。

小・中・高校生への
プログラミング教育を支援。

小学校から大学までの
一貫校を作る。

はじめに
基本構想
基本計画
第1章
第2章
第3章
第4章
参考資料

2節 生涯学習

課題

社会がどのように変化しても、誰もが人とのつながりを保ちながら、文化やスポーツ活動など生涯にわたる学習活動を主体的に行い、学んだ成果を活かすことのできる生涯学習社会を実現するための多様な学習機会の提供が必要です。

そのために、家庭や地域社会、学校との連携を保ち、人がつながる地域づくりを推進することが必要です。

また、むくのきセンターや町立図書館などの既存施設については、長寿命化など適切な維持管理と運用に努めるとともに、屋外体育施設の改修整備が必要です。

柱① 歴史・文化財

関係する
SDGsの目標



目標像	多くの住民が地域の行事や史跡、神社仏閣など、地域の歴史や文化に身近に触れることができます。
取り組み	町内の文化財を総合的・一体的に保存・活用することを目的として「精華町文化財保存活用地域計画」を策定し、資料の収集や調査・研究、保存を進め、文化財の継承と積極的な活用を図ります。また、デジタルミュージアムのコンテンツを拡充するとともに、資料展示スペースの整備に取り組みます。

柱② 文化活動

関係する
SDGsの目標



目標像	住民が主体的に多様な文化活動を行っています。
取り組み	精華町文化協会など関係団体と連携し、各種の文化振興施策を展開するとともに、地域学校協働活動など地域社会の教育力を高め、地域の文化活動の活性化を図ります。

柱③ スポーツ活動

関係する
SDGsの目標



目標像	住民がむくのきセンターなど町内の体育施設を利用し、健康増進や生きがいづくりのため、スポーツ活動を盛んに行っています。
取り組み	精華町スポーツ協会など関係団体と連携し、各種のスポーツ振興施策を展開するとともに、健康増進やスポーツを楽しむ人のために、町立体育施設の適正な維持管理を行うとともに、屋外体育施設の改修整備を進めます。

柱 4 図書館

関係する
SDGsの目標



目標像	多くの住民が知的活動の拠点として図書館を利用しています。
取り組み	住民の教養を高め、調査研究、レクリエーション活動に必要な図書などを、収集、整理、保存するとともに、広域個人貸出や京都府図書館総合目録ネットワークを活用した資料の取り寄せ、国立国会図書館関西館との連携サービスなどを活用し、すべての住民が図書館(移動図書館含む)を利用でき、図書などの貸出が増加する取り組みを行います。また、学校や関係団体との連携を深め、子どもの読書活動を推進します。

【指標】

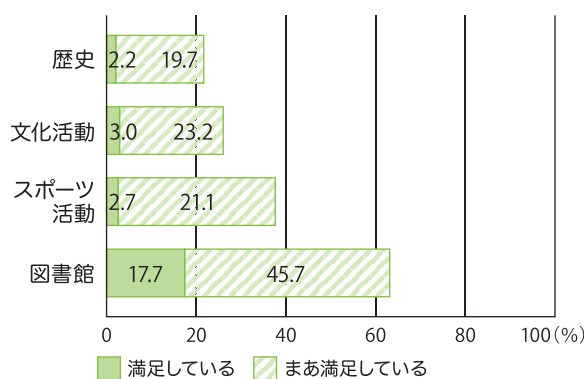
指標名	現況値 (R3年度)	中間目標値 (R9年度)	期末目標値 (R14年度)
デジタルミュージアム訪問者数	56,021名	80,000名	100,000名
登録文化サークル会員数	695名	750名	800名
町内スポーツ施設等利用者数	163,488名	165,000名	170,000名
住民一名あたり図書館資料貸出点数	10.38点	11点	11.5点

【関連する計画等】

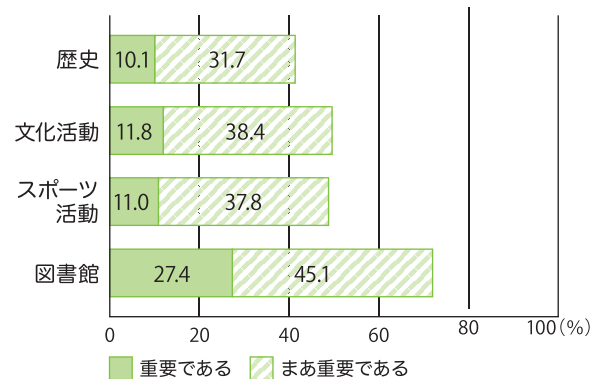
社会教育指導の重点	毎年策定
子どもの読書環境整備5か年計画(第四次)	令和2年4月(令和2~6年度)

《住民の満足度と重要度(令和3年時点)》

【満足度】(SA,n=1,282)



【重要度】(SA,n=1,282)



精華町次期総合計画策定に向けたアンケート調査(令和3年)

語り合おう! 精華町の未来デザイン

せいかカフェ・ラボ
からの提案

地域のお祭りに子どもたちが積極的に関わる。

古くから続いている行事に関心を持ってもらう取り組み。

地域の中での多様な部活、クラブ活動。

スタジアムのような集客できる公園を作る。

色々なスポーツ、健康づくりのイベント開催。

はじめに
基本構想
基本計画
第1章
第2章
第3章
第4章
参考資料

3節 人権尊重と多文化共生社会

課題

自分らしさを十分に発揮でき、多様性を認め合える社会の実現に向け、時代の変遷に合わせて変化する人権課題に対応し、人権意識の醸成を図るとともに、男女共同参画社会の推進を図る必要があります。

今後も増加が予想される外国籍住民との相互理解を深め、多文化共生社会の形成に努める必要があります。

誰もが平和で安心できる暮らしを実現するため、平和の尊さを次世代に引き継ぐ必要があります。

柱① 人権

関係する
SDGsの目標



目標像	住民一人ひとりの尊厳と人権が尊重され、多様性を認め合える社会が実現し、いきいきと暮らせるまちづくりが進んでいます。
取り組み	同和問題をはじめ、多種多様な人たちを取り巻く人権問題を解消するため、様々な機会を通じて、人権に関する住民の意識啓発を推進するとともに、時代の変遷に伴い生じる新たな人権課題に対しても、関係機関との連携を図りながら、住民一人ひとりの人権意識の向上を図ります。

柱② 男女共同参画

関係する
SDGsの目標



目標像	誰もが互いに人権を尊重しつつ、家庭や社会において責任を分かち合い、性別に関わりなく個性や能力を発揮できる男女共同参画社会が実現しています。
取り組み	様々な分野で活動している住民、関係団体、事業者などと協働しながら、「精華町男女共同参画計画」を推進し、特に女性の社会進出に不可欠なワークライフバランスの普及啓発に取り組みます。

柱③ 国際交流・平和

関係する
SDGsの目標



目標像	様々な国籍や文化の違いを認め合う多文化共生社会が実現し、誰もが平和で安心して暮らしやすいまちになっています。
取り組み	国際交流団体と協働して国際交流の促進や外国人住民の生活支援などに取り組みます。「精華町非核・平和都市宣言」の趣旨を踏まえ、平和の尊さを感じる機会づくりに取り組みます。

【指標】

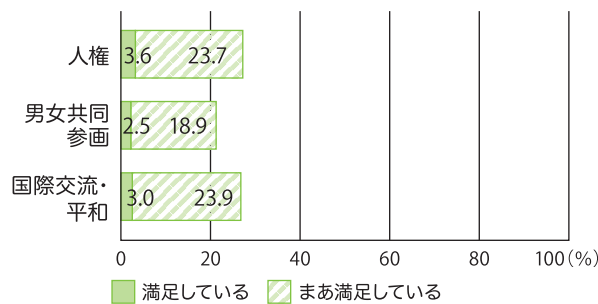
指 標 名	現況値 (R3年度)	中間目標値 (R9年度)	期末目標値 (R14年度)
人権に対する関心度	—	40%	60%
審議会等女性割合	33.7%	40%	45%
外国人による国際交流事業の満足度	—	60%	70%

【関連する計画等】

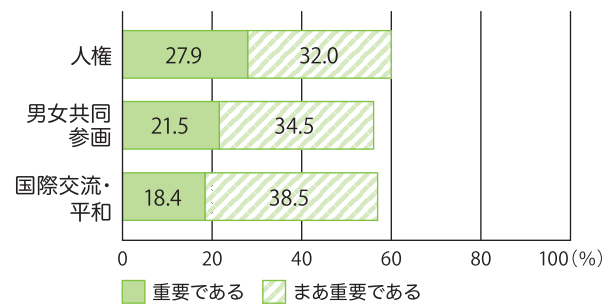
精華町第2次人権教育・啓発推進計画	2017(平成29)年3月(平成29～令和8年度)
精華町第2次男女共同参画計画(後期)	令和2年3月(令和2～6年度)
精華町非核・平和都市宣言	昭和62年12月

《住民の満足度と重要度(令和3年時点)》

【満足度】(SA,n=1,282)



【重要度】(SA,n=1,282)



精華町次期総合計画策定に向けたアンケート調査(令和3年)



「女性に対する暴力をなくす運動」パネル展示

語り合おう！精華町の未来デザイン

せいかカフェ・ラボ
からの提案

人権について真剣に考えるまちづくり。

世界の国々と人々が生活レベルでつながっている地域。

外国人向けのイベント開催。



4章

住民協働と行財政運営の強靱化のまちづくり

- 1節 住民協働・コミュニティ…………… 74
- 2節 行財政運営・行政サービス…………… 76

4章 住民協働と行財政運営の強靱化のまちづくり

現況

本町では、古くから地縁団体である自治会(区)単位のコミュニティが主体となって様々な地域活動が展開されてきたほか、新市街地においても自治会をコミュニティ活動の基礎単位とし、地区集会所の整備などを通じて支援してきた結果、現在、42の自治会がそれぞれ自主的な活動を展開しています。

しかし、少子高齢化をはじめ、人口構造の変化に伴うライフスタイルの多様化や共働き世帯の増加などを背景とする自治会加入率の低下や、長引くコロナ禍の影響で地域活動が縮小傾向にあるなど、地域コミュニティの衰退が懸念されており、小学校区単位のコミュニティ協議会の設立を目指してモデル地区を設定するなど、様々な地域課題の解決に向けて、自治会や各種団体同士の交流・連携や住民同士が協働できる場づくりとともに、新たな公共的活動の担い手育成などに取り組んできました。

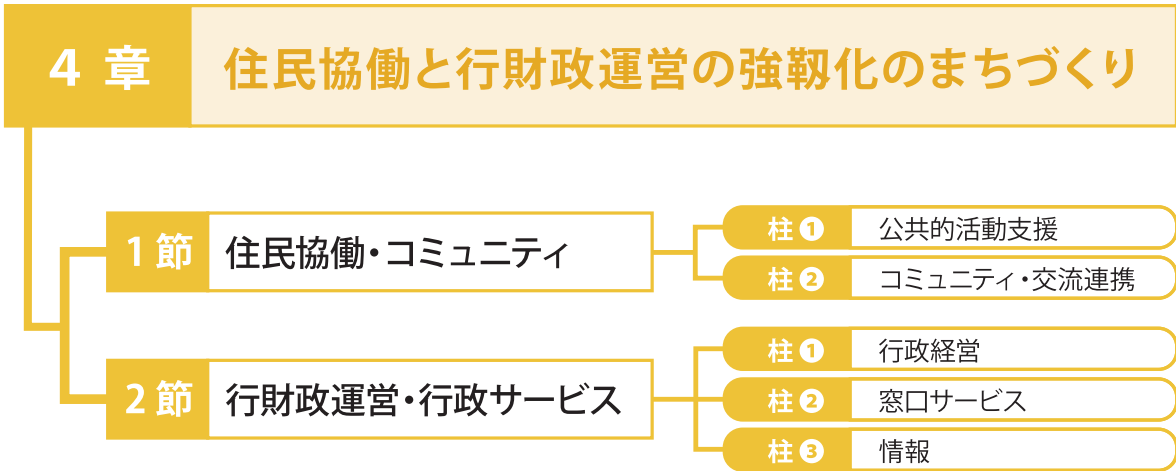
行財政運営では、学研地区の施設用地を活用した企業誘致の推進により税収の確保を図る一方で、より一層の選択と集中による財政健全化に取り組むとともに、行政評価の推進によるPDCAサイクルの確立などを通じて、規律ある行財政運営を進めてきました。

窓口サービスでは、役場窓口でのワンストップサービスの安定的な実施をはじめ、証明書等交付手数料収納に係るキャッシュレス決済の導入や、マイナンバーカードの普及促進のための休日窓口の開設など住民利便性の向上とデジタル化による事務効率化を進めてきました。

情報分野では、アクセシビリティに配慮したホームページの運用やSNSによる情報発信を行い、またマイナンバーカードを活用した各種手続きのオンライン申請システムの構築をしてきました。



役場庁舎総合窓口



はじめに
基本構想
基本計画
第1章
第2章
第3章
第4章
参考資料



京町セイカ なりきりAI実証実験

1節 住民協働・コミュニティ

課題

地域コミュニティは自治会などへの未加入者や脱会者が増加傾向にあり、これまで地域コミュニティが担ってきた親睦、環境美化、防犯・防災、広報などの機能を十分に果たすことが難しくなっています。安全・安心で住みよいまちづくりへの影響が懸念されるなか、地域が抱える課題解決に向けた仕組みづくりが求められています。

柱① 公共的活動支援

関係する
SDGsの目標



目標像

多様な世代が主体となった持続可能な公共的活動が町内各所で活発に行われています。

取り組み

住民主体の持続可能な公共的活動を盛んにするため、地域公共人材の育成や、公共的活動を支援します。

柱② コミュニティ・交流連携

関係する
SDGsの目標



目標像

各行政区では時代に即した形で活発な自治会活動が行われ、小学校区においては自治会や公共的活動団体の交流・連携が活発に行われ、地域課題の解決に取り組んでいます。

取り組み

地域の実情を踏まえた参加しやすい活発な自治会づくりを支援します。また、各自治会や公共的活動団体の交流・連携を促し、地域課題の解決にあたって、協働できる場づくりを小学校区単位で進めます。



せいかまちづくり塾

【指標】

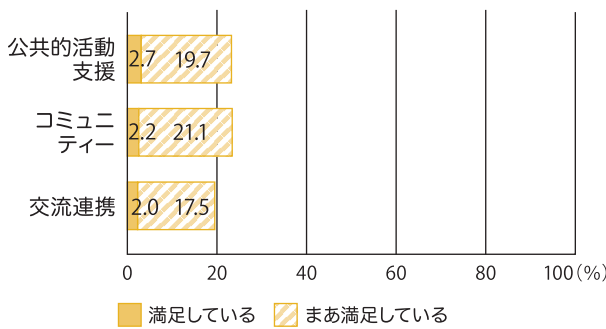
指標名	現況値 (R3年度)	中間目標値 (R9年度)	期末目標値 (R14年度)
公共的活動団体数	260団体	265団体	270団体
地域コミュニティ活動へ主体的に参加している人の割合	35%	37%	39%
地区集会所耐震化率	81%	83%	89%

【関連する計画等】

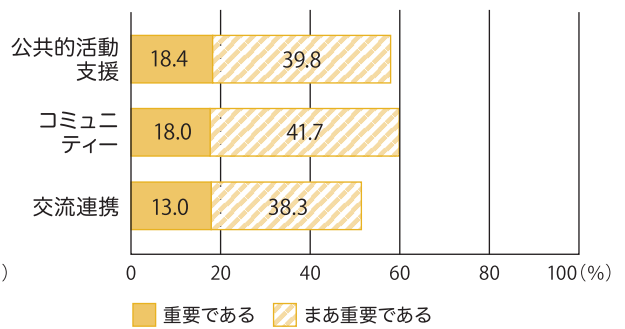
第2期精華町地域創生戦略	令和2年3月(令和2~6年度)
--------------	-----------------

《住民の満足度と重要度(令和3年時点)》

【満足度】(SA,n=1,282)



【重要度】(SA,n=1,282)



精華町次期総合計画策定に向けたアンケート調査(令和3年)

語り合おう! 精華町の未来デザイン

せいかカフェ・ラボ
からの提案

多世代や同じ状況にある人が
交流できる居場所を作る。

自治会や子供会などの
コミュニティを活性化していく。

新旧地区、お互いを知る
ような交流促進をする。

人やものをつなげる
イベントづくり。

役場や駅近くなど、交流もでき、
気軽に立ち寄れる場所づくり。

2節 行財政運営・行政サービス

課題

学研都市の中心自治体として、高度な都市運営を支えることのできる自立した行財政基盤を確立するとともに、社会経済情勢の変化はもとより、行政のデジタル化、公共施設の老朽化などに的確に対応しながら、住民ニーズの把握に努め、すべての住民が幸福感を実感できる効率的かつ効果的な行政サービスを展開していく必要があります。

柱① 行政経営

関係する
SDGsの目標



目標像	学研都市の中心自治体として高度な都市運営を図るとともに、強固な行財政基盤が確立し、多様な行政需要に柔軟に対応しています。
取り組み	学研都市を活用した新たな産業集積や人口定着などによる持続可能な行財政基盤の確立に加えて、多様な行政需要に対応できるよう職員の専門性向上などを図ります。また、総合計画の進捗管理に住民も関わり、行政各分野において、行政と住民相互の連携・協力を基本としたまちづくりを進めます。

柱② 窓口サービス

関係する
SDGsの目標



目標像	多様化する住民ニーズに応え、誰もが満足できる窓口サービスを展開しています。
取り組み	住民ニーズに沿った「総合窓口」サービスを展開するとともに、各種相談窓口の拡充を図るなど、住民本位の便利で効率的な窓口を提供します。

柱③ 情報

関係する
SDGsの目標



目標像	誰もがデジタル技術を活用した行政サービスを利用しています。
取り組み	強固なセキュリティ基盤に立脚した各種情報通信やコンピュータシステムを運用し、学研都市にふさわしい高度な住民サービスを提供します。また、誰もが情報化の恩恵を享受できるよう、住民主体の支援組織と連携した技術的支援に取り組みます。

【指標】

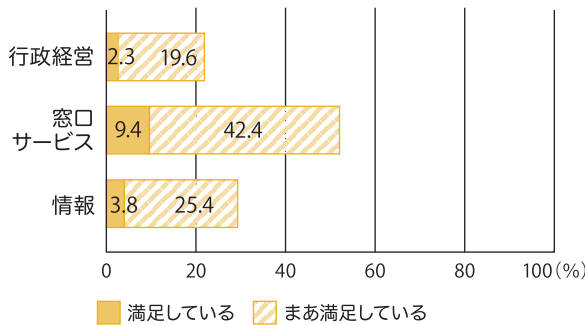
指標名	現況値 (R3年度)	中間目標値 (R9年度)	期末目標値 (R14年度)
財政力指数(3か年平均)	0.732	0.816	0.900
職員対応がよいと感じている住民の割合	82%	92%	95%
広報誌「華創」を見る人の割合	88%	90%	95%

【関連する計画等】

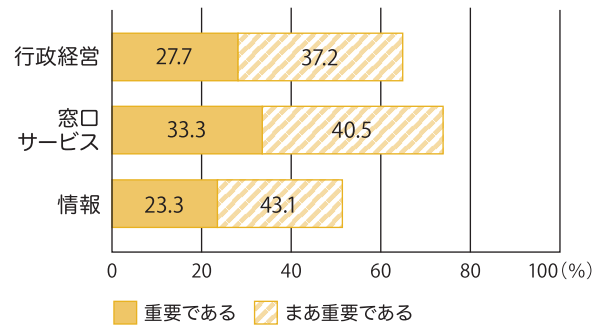
精華町人材育成基本方針	平成21年3月
精華町公共施設等総合管理計画	平成28年3月(平成28～令和13年度) 令和4年3月改訂
精華町情報化基本計画	令和5年度策定予定(令和5～15年度)

《住民の満足度と重要度(令和3年時点)》

【満足度】(SA,n=1,282)



【重要度】(SA,n=1,282)



精華町次期総合計画策定に向けたアンケート調査(令和3年)

語り合おう! 精華町の未来デザイン

せいかカフェ・ラボ
からの提案

行政と地域との意思疎通ができる仕組み・場づくり。

誰もが情報をとれるシステムづくり。

企業の知恵を借り、IT技術を活用したコミュニケーション。

SNSやつながるアプリで、欲しい情報が手に入る仕組みづくり。

相談窓口の設置。

